



熊本大学文学部 第9回 21世紀文学部フォーラム

東日本大震災は社会をどう変えたか？

～コミュニティの絆とマーケティング・コミュニケーションの側面から～

2012年11月4日(日) 14:00～17:00 熊本大学 文・法学部棟A2教室

参加無料
来聴歓迎

熊本大学文学部では、本学教員による最新の研究成果を地域社会の皆様にも広く知っていただくことを目指して、毎年公開講演会「21世紀文学部フォーラム」を開催しております。昨年度に引き続いて、本年度も東日本大震災以後の日本社会のあり方をテーマに、教員が講演および対談を行います。

東日本大震災から一年半。震災は社会にどのような影響を与えたのでしょうか。水俣や福島のような大規模な環境災害が人の絆やコミュニティにどのような影響を与えるか、消費者の意識が広告を始めとした企業のマーケティング活動をどう変えるのか、について考えます。ぜひお気軽にご参加ください。

- 開会の言葉** 大熊 薫 (熊本大学文学部長)
- 第1部** 14:00～15:50
 第一講演 「震災とメディア、企業－広告やマーケティングがどう変わったか」
 江川 良裕 (熊本大学文学部)
 第二講演 「原発災害後に壊される人の絆－水俣と福島に考える」
 石原 明子 (熊本大学大学院社会文化科学研究科)
- 第2部** 16:00～17:00
 講演者の対談
 フロアとの質疑応答
- 閉会の言葉** 小松 裕 (熊本大学文学部研究推進・地域連携委員会委員長)

司会・進行／大辻 正晴 (熊本大学文学部)

